

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案（略案）

1 題材名 計画的な金銭管理と購入 C (1) ア (ア) (イ) イ

2 本時の指導

(1) 指導目標

多様な支払方法に応じた計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・計画的な金銭管理の必要性について理解している。【知識・理解】
- ・物資・サービスの選択購入について問題を見出し、課題を設定している。【思考・判断・表現】
- ・金銭の管理と購入課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 指導構想

消費行動を自分のこととしてリアリティをもって考えられるように、大学卒業後の初任給を例に生活費を提示し、金銭管理の必要性を実感させたい。日頃の生活の中で何気なく行っている支払い場面を具体的な設定の中で考えることから始め、その選択の理由に価値づけをすることで学びを深めたい。家庭生活の中で何にお金を使うのかは個々の生活スタイルや家族構成、年代により大きく異なるが、長期的な視点と計画的な金銭管理が安定した生活を作り出すことを手数料のシュミレーションやメリット・デメリットなどの思考の場面で気づかせたい。自分の選択した支払い方法が、生活にもたらす影響を模擬的に体験することを通して、消費生活を営む自分を見つめる時間としたい。

(4) 本時の展開

段階	学習内容及び学習活動 ・予想される生徒の反応等	■指導上の留意点及び評価 ・指導上の留意点 ◆評価								
導入 5	1 前時の学習の振り返り ・支払方法の種類を確認する。(前払い・即時払い・後払い) ・三者間契約を確認する。 ・クレジットカードの仕組みについて確認する。 2 キャッシュレス社会の現状 ・現金を使用しない社会を国が推進していることや海外の現状を確認する。 3 学習課題の確認	・前時を振り返りながら、支払方法の種類や特徴について確認する。 ・今後の社会生活において、クレジットカードや電子マネー等の知識が必要であることを意識させる。								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 学習課題 お金を計画的に管理するために必要なことはなにか考えてみよう </div>										
展開 35	4 買い物をするときの支払い方法について選択をする。 ・4種類の商品と金額を提示しその支払い方法と理由について記入する。 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%; text-align: center;"> <tr> <td>1 コンビニで文具とお菓子</td> <td>680円</td> </tr> <tr> <td>2 スーパーで日用品と食品</td> <td>2,520円</td> </tr> <tr> <td>3 海外研修でランチ</td> <td>8ドル</td> </tr> <tr> <td>4 電気屋でテレビ</td> <td>20,000円</td> </tr> </table> ・小グループで支払方法とその理由を発表する。 ・小グループの意見をもとに全体で方法と理由を共有する。	1 コンビニで文具とお菓子	680円	2 スーパーで日用品と食品	2,520円	3 海外研修でランチ	8ドル	4 電気屋でテレビ	20,000円	・支払方法を選択し、その理由についても発表できるように助言する。 ・既習事項やこれまでの経験をもとに考えるように助言する。 学習シート① ◆計画的な金銭管理の必要性について理解している。 【知識・理解】
1 コンビニで文具とお菓子	680円									
2 スーパーで日用品と食品	2,520円									
3 海外研修でランチ	8ドル									
4 電気屋でテレビ	20,000円									

	<p>5 後払いを選んだテレビについて回数と手数料の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支払回数を選択する。 ・支払回数に応じたシュミレーションを行う。 ・後払い方式を選んだ時の手数料について考える。 ・各自が考えたことを、グループで交流し合い、気付いたことを全体で発表し合う。 <p>6 クレジットの明細を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用記録が集められ明細に記録されることを確認する。 ・記録が残ることについてのメリットデメリットを考える。 <p>7 生活費の内訳について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学卒業後の初任給の例を挙げ生活費の内訳を紹介する。 ・5で選択した後払い24回で支払う金額を模擬的に示し、収支に見合った支払い方法や予算を立てることの必要性を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・回数は3, 5, 6, 10, 12, 18, 20, 24回から選ばせ、その理由も考えさせる。 ・回数が増えると手数料も増え支払総額が多くなることを確認する。 ・クレジットカードや電子マネーの明細など金銭の流れを記録に残す必要があることを確認する。 ・貯蓄や予算に余裕がなければ想定していない事態に備えられないことなどにも触れる。
<p>終 結 10</p>	<p>8 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金を計画的に管理するために必要なことはなにか。 ・振り返りを記入する。 ・振り返りを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手数料や明細、生活費に触れながら振り返りを記入するよう助言する。 <p>◆金銭の管理と購入、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【主体的に取り組む態度】</p>

成果と課題

- ・具体的な数字や金額を提示したことで手数料や収支について視点をもって思考できた生徒が多かった。
- ・日常生活の中で支払う経験が少ない生徒にも支払いや選択を模擬的に設定したことで、自分の判断が消費生活に影響する場面を想像できた。
- ・現在の生活に結び付けて考える視点を提示することが不足したため、自分の生活を見つめなおす振り返りが少なかった。

生徒の感想

- ・後払いで回数が増えるほど手数料が多くなっていくのがきついなと思いました。8回ぐらいまでは仕方がないと思えるけれど、それ以上はきついなと思いました。回数を増やして少しづつ払えばいいけれど、手数料のこともしっかり考えなければと思いました。生活やお金のことを考えるのはまだまだ先と思っていたけれど、今から勉強しなければ…と少し不安になりました。
- ・生活のことを考えて毎月こつこつ払っていけばよいと思っていたけれど手数料がかかると思わなかったので、支払い方の選択は難しいなと感じました。それに目の前の支払いだけを考えると万が一に備えられないことも分かったので貯金も考えていきたいです。
- ・給料を考えると、高いものを買うとき手数料は仕方がないのでは？と思った。その分便利になり生活しやすくなる。計画（予算）に入れて管理していくと生活が安定すると思う。
- ・分けて払う時にメリットがあるということは、デメリットがあるのは当然だし手数料が発生しないと会社の利益も出ない。即時払い、前払い、クレジットとうまく使い分ければ管理しやすいと思った。
- ・計画的にお金を管理するために知識が必要だと思った。そうじゃないと破産する。後払いには手数料があるので嫌です。お金を貯めてから買うことやレンタル・我慢も考えればよいと思う。
- ・金額の大きいものを買う時、クレジットは仕方がない。記録も残るし安全。最近使いすぎ…と思ったら節約をすることにつながると思う。管理には家計簿などクレジット以外にも記録が必要。
- ・クレジットの手数は理解できるけれど、買った物の情報が残るのは分析されて、悪用されそうで怖い。計画的にお金を使っていくのは苦手なので僕には必要かもしれないが…実際計画的に管理するには努力が必要。